一括ファクタリング（手形レス）

参考資料2

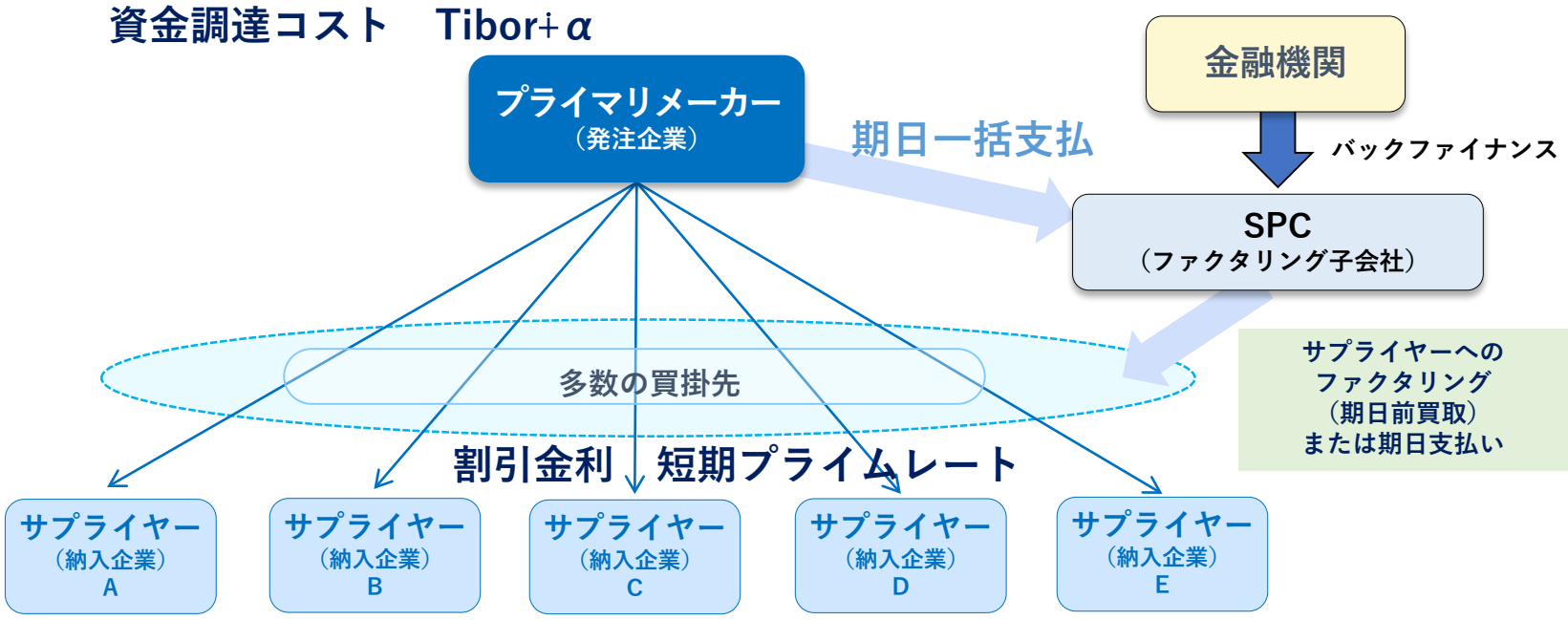
プライマリメーカー
メリット
- 支払の先延ばし
- 手形レスによる印紙税コストなどの減少
- 支払の1本化による振込コストの減少

デメリット
- システム利用料負担

サプライヤー
メリット
- ファクタリング手続きの自動化
- 手形と比較してペーパーレス化による保管・事務コストの減少
- 相対的に低い割引手数料

デメリット
- 割引手数料負担（期日前買取の場合）

一般的な一括ファクタリング　スキーム



＜割引金利の設定問題＞

◆同じ信用力の金銭債権の取扱いでありながら、**サプライヤーにはプライマリメーカーとは大きく異なる金利水準での割引が行われているケースが多い。**

◆プライマリメーカーが上場大企業の場合、借入金の金利水準はTibor+α　※3ヶ月Tibor　0.06909％（2020年7月29日現在）

◆多くのケースで、一括ファクタリングの割引レートは短期プライムレート　※短期プライムレート　1.475％（大手銀行2020年7月29日現在　）

◆短期プライムレートは、2009年以来1.475％で不変。一方のTiborは2009年1月5日の0.7425％から0.67341％低下

◆中小企業には、この10年余の超低金利政策の恩恵が大企業ほどには及んでいない。

資料提供　株式会社システム・ファイナンス